

○提言書にある整備候補地の比較

	現在地	旧安中高校跡地	その他の場所	
お金の面	費用	<ul style="list-style-type: none"> ●既存の新庁舎部分を活用することで、建設面積が少なくなり、建設費が安くできる 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民サービス機能をまとめると、建設面積が増え、建設費がかかる ●仮設庁舎の整備費用が不要。引越し費用が少なく済む 	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな場所を探す事務費用や、取得費用などが必要である ●完成まで長期となり、老朽庁舎の倒壊リスクが増えるほか、継続利用のための維持・修繕費が増加する
	財源	●合併特例債の利用が可能となる見込み	●合併特例債の利用が可能となる見込み	●合併特例債の利用は難しい
使いやすさの面	市民サービス機能	<ul style="list-style-type: none"> ●新庁舎部分をそのまま使うため、本格的なオープンフロアはできない ●既存の新庁舎部分と新しく作る庁舎との間に接続通路が必要となる 	<ul style="list-style-type: none"> ●間仕切りのないオープンフロアが実現する ●行政部門が一つの建物にまとまることで、業務の効率化や市民サービスの向上につながる 	●旧安中高校跡地と同じ
	防災機能	●庁舎内外で災害対応時に使えるスペースを確保することが難しくなる	●庁舎内外で災害対応時にも使えるスペースが一体的に確保でき、防災機能の強化につながる	●新たな場所の面積による
	建物外部	●駐車場が狭くなり、交流広場などの確保は難しい	●駐車場が広くとれ、交流広場などの設置も可能である	●新たな場所の面積による
	松井田庁舎	●支所として残す	●支所として残す	●支所として残す
まちづくりの面	市民参加	●スペースが限られているため、テナントスペース・市民活動スペース・市民ギャラリーなどの確保は限定的なものとなる	●スペースに余裕があるため、テナントスペース・市民活動スペース・市民ギャラリーなどの確保が可能である	●旧安中高校跡地と同じ
	将来性	●機能面での向上は限定的になる	●西毛広域幹線道路に近く、集客施設などを含めた複合施設として活用できる可能性がある	●中長期的なまちづくりを考えることができる
主な比較ポイント	多面的な活用は難しいが、建設費が安くできる	建設費がかかるが、防災面や利便性などの機能面で利活用の可能性が高まる	建設費がかかるほか、新たな場所を探すことも必要となるが、中長期的なまちづくりを考えることができる	

○今後の取組

市では、庁舎の整備の方向性をさらに検討していきます。今後、市民アンケート調査などより多くの市民のご意見を、さまざまな方法によりお聞きしていきたいと考えています。その際には、お気軽にご意見をお寄せください。皆様のご協力をお願いします。